

奈 監 危 第 1 2 号
令和 3 年 4 月 2 2 日

奈良県知事
荒井 正吾 様

奈良市長 仲川 げん

緊急事態宣言の発出に関する要望書

国において、大阪府や兵庫県などに対する緊急事態宣言の発出に向け検討が進められる中、令和 3 年 4 月 2 1 日(水)、奈良県内の新規感染者が 1 1 5 人、入院・入所準備中の方が 4 5 6 人と過去最多を数え、また、国がステージを判断するための指標のうち、確保病床使用率、重症病床使用率及び人口 1 0 万人当たりの療養者数が、ステージIV相当を大きく超える数値で推移している状況と認識しています。

本市においても、4 月 1 8 日(日)に新規陽性者数が 4 1 人と過去最多となり、4 月 2 1 日(水)現在の直近 1 週間の人口 1 0 万人当たりの新規陽性者数が 5 9.5 人と過去最高で、ステージIV相当を大きく超える状況となっています。

市内の医療提供体制及び奈良市保健所の対応体制はひっ迫状態となっており、強い措置を講じなければ更なる状況の悪化が想定されます。また、ゴールデンウィークを迎えるにあたり、他府県からの往来による感染拡大を懸念する声も寄せられており、この状況を一日も早く脱し、県民・市民の命と健康を守るために、速やかに、国から奈良県に対する「緊急事態宣言」を発出していただき、本市において、感染拡大防止のための緊急事態措置を講じていくことが必要と考えております。

つきましては、奈良県内における新型コロナウイルスの急速なまん延により住民生活及び経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある事態が発生していると考えられることから、国に対し、奈良県を緊急事態措置を実施すべき区域として、新型インフルエンザ等対策特別措置法第 32 条第 1 項に基づく緊急事態宣言の発出を要請するとともに、奈良市内において緊急事態措置を講じていただくよう要望いたします。